

みなみまち協だより

第23号 令和4年3月15日

発行所：みなみまちづくり協議会
高山市岡本町1-18 南小学校内
Tel&Fax 34-0114

題 字：内木 能里子(八軒町2)



南地区の風景

桜並木

南小学校の桜です。昨年の「フォトコンテスト」応募作品から選びました。

岡本町の河合敦子さんの作品です。

南小学校の東側と南側には道に沿って多くの

桜が植えてあり、満開の時はかなりの見ごたえがあります。南小学校の校歌にある桜の前を具象化したような風景です。

桜

「ともかくともかく春が来る」と去年の今頃私はこの「みなみまち協だより」に書いた。それから一年。夏、秋、冬と過ぎ、また

春が来たが、コロナ禍はそのまま。ワクチンを打ち、手を消毒し、三密を避けて感染者数が減る。そこで一安心するとまたふり返す。四波、五波、六波と続く。

ウイルスの方も進化して、オミクロン変異株なんてのが広がり、タチが悪い。イタチごっこやモグラ叩きのくり返して、もううんざりする。

「賽の河原」の話を知っていますか。三途の川原で子どもが親の供養のため石を積む。何回積んでも鬼が来て壊す。その都度地藏様が来て救うという仏教の話。

今暴れ回っているコロナはこの賽の河原の鬼みたいなものでしょう。地藏様達も大変。鬼めらが増え過ぎて、手が回らない。

コロナ鬼の中で、学校に通う子ども達のために、周囲の大人達は何らかの地藏様役になれないものでしょうか。例えば、通学の子ども達にあったかい言葉を掛けるとか。

ともかくともかくまた新学期が来る。
(中林 利数)

コロナ禍の中でも

みなみまちづくり協議会会長 三枝 祥一



日頃は、みなみまちづくり協議会の活動に、ご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

昨年は、コロナで始まりコロナで幕を閉じた一年でした。その中でも花柳琴臣さんをお迎えして五周年記念コンサートを開催することができましたのも、皆様のおかげと感謝しております。日本舞踊、フルート、アコーディオン演奏など華やかな舞台を盛り上げていただきました。また、同時に行わせていただいた、フォトコンテストでは素晴らしい作品をたくさん応募いただきありがとうございました。入賞された皆様、誠にありがとうございました。

いったん終息しかけた新型コロナウィルスですが、オミクロン株での感染が拡大し、まだまだ油断できないのが現状です。

みなみまちづくり協議会といたしましても、新型コロナウイルスと上手に付き合い、極端に怖がらず、しかしながら油断せず防災をはじめ様々な活動をしてまいりたいと思っております。地区皆様におかれましても、なにとぞご理解をいただき協力賜りますようお願い申し上げます。



地域づくり部

「本年度を振り返る」

地域づくり部長

河合 博昭

令和三年度も新型コロナウイルスに振りまわされた一年でした。

◆町内会活動支援事業

各町内会ではほとんどの行事が中止となり、町内親睦の要の機能がはたせず残念な限りでした。

しかし、様々な対策をして代替行事を行った町内会もあり、活動停止した町内会との大きな温度差を感じました。

◆情報提供事業

各町内会より生活道路及び側溝の改良、修繕の情報をお願いしています。それを市役所の担当部署と協力し概算見積を算出します。その後年度内の工事箇所を選定する会議を該当箇所の町内会長の同席のもと開催しました。今年度は五町内会の事業を採用しました。

地域づくり部の事業

事業名	町内会数	総額
情報提供事業 ※1	5	12,000,000
町内活動支援事業	11	1,394,800
外灯補助事業 ※2	20	1,099,091

- ※1 情報提供事業は、市が修繕補修を実施し費用も市が負担します。町内会から提出された情報は、12町内会から59件ありました。
- ※2 電力会社から各町内会への請求をみなみまち協で支払います。3月支払い分が未払いなので推定値となります。

◆外灯補助事業

従来各町内会へ送付されていた外灯電気料金請求を直接みなみまち協へ送付いただき、直接支払処理を行い全額みなみまち協負担することとしました。各町内会の事務処理を軽減できています。

さて、私は本年度にて四年の任期が終了しますが、毎年同じ事業ばかりでマンネリ化していました。後任の方には他のまち協担当者との情報交換をしていただき、町内会の活動を活性化させる新規事業を創生していただきたいと希望しています。

防災部

新しく防災部として活動!!

防災部長

竹腰 幸夫

今年度より防災部として体制が変更になり、本格的にみなみまち協の防災活動を始めることとなりました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の蔓延で十分な活動はできず、防災部員を対象とした活動が主になりました。

新防災部では毎月防災部役員会を実施し、各防災事業を行うと同時に、南地区防災計画について

も検討を重ねてきました。

部門目標に設定している「防災、減災をみんなで考え対策する地域を目指す」ために、各町内会や町内の自主防災組織と協力しながら、地域の防災力向上と地区防災計画の策定を目指しています。

「自分の命は自分で守る」ために、まずは各個人・町内会・自主防災組織で何をすべきかを考え、それにみなみまち協としてどう協力していくかを模索していきます。



防災部の活動

月日	事業名	参加人数	備考
7月7日	南小学校防災教室	122	4年生親子学習会
7月28日	自主防災リーダー研修会	25	
10月15日	防災講座・講演会	31	講師:末永賢治氏
11月3日	普通救命講習	13	
11月14日	避難所開設実践演習(南小)	31	

社会教育部

折れそうな心を支えていただきました

社会教育部長

遠藤 伸子



でも心苦しく、申し訳ない思いでいっぱいでした。

雪が溶ける頃には、日常が戻ることを祈るばかりです。

一年間ありがとうございました。

来年度に向け新たな講座開設も考えています。「こんな講座を開いてほしい」といったご要望がありましたら、何なりと事務局までご連絡ください。

令和三年度が始まる前、毎月の様に行事を計画していました。しかし、スタートしてみれば、相変わらずの コロナ自粛で今年度も思うように実施できませんでした。それでも、感染状況を見ながら、感染防止対策をとって、いくつかの行事を実施することができました。それらの行事に参加いただいた方々の笑顔と出来上がった作品に、折れそうな心を支えていただきました。ありがとうございます。

年度末も近づくと、さらに状況が悪くなり、申し込みをいただきながら中止の決定を出すことがと

社会教育部の活動

事業分類	月日	事業名	参加人数
教養講座	7月7日	クラフトテープで作るかごバッグ講座	19
教養講座	7月28日	ブリザーブドフラワー講座	22
教養講座	10月15日	寄せ植え講座	20
長寿会	11月3日	あんしん・あんぜん講座 (一本杉神社事務所)	18
長寿会	11月14日	あんしん・あんぜん講座 (辻ヶ森公民館)	51
教養講座	12月11日	干支(寅)飾りづくり教室	17

みなみまち協 行事・活動 アルバム



あんしん・あんぜん

講座

11月8(月)・9日(火)

一本杉神社社務所と辻ヶ森公民館で開催しました。
 警察の雪道での運転や歩行の注意や電話による詐欺の実例のお話を聞きました。
 後半は、NPO法人すえひろの末永賢治さんより東日本大震災の体験談を伺いました。

避難所開設実践演習

11月14日(日)

自主防災リーダーや町内会長、運営委員で避難所開設の演習をおこないました。参加者を避難者に見立てて、受付のシュミレーションを行いました。

体育館では簡易パーティションの組立や、簡易ベッドの組立を体験。小型発電機の始動の仕方も実演しました。



日頃から準備されている防災士の栗田さんに実際の非常持出品を見せていただきました。
 非常持出品は、個人個人で必要な物が異なるので大変参考になりました。



干支(寅)飾り作り教室

12月11日(土)



干支「寅」の押絵をつくりました。型紙に合わせて布を切り、台紙に接着剤で貼って部品を作ります。それを貼り合わせて作品が出来上がります。親子での参加も多く、細かい作業も親子で協力してやっていました。

ワイワイカフェのクリスマス会

12月14日(火)

みなみ・新宮・三枝の3まち協とNPO法人飛騨高山わらべうたの会との共催で、小さなお子様とお母さんのクリスマス会を新宮公民館で開催しました。

お菓子をもらって、人形劇を見て、お歌を聞いて、親子で楽しく過ごしました。最後は特別にサンタさんに来てもらって記念撮影。でもみんな怖がって泣いています。



親子正月飾り作り教室

12月18日(土)

北村哲雄さんの指導で、竹の器に縁起物の松竹梅を中心にあでやかなフラワーアレンジメントを作りました。
 親子での参加ですが、祖父母と一緒に参加もありました。これで正月準備完了しました。

青少年部

「今年度の活動について」

青少年部長

田中 育宏

今年度もコロナ禍は収まるどころか変異を繰り返して、昨年度よりも身近になっている状況です。

子ども達はそんな中でも学校に登校し、マスク越しでも笑顔が溢れ元気です。青少年部として、何か楽しい活動が出来ないかと模索する一年だったと感じます。

安全を第一に考え、夏休みの日帰りバスハイクは中止いたしました。しかしながら、夏休みの思い出の一つとなってもらいたいという思いから、感染対策をしっかりと行って、「子ども夏まつり」を開催いたしました。多くの子ども達が参加してくれたことが印象的でした。土曜教室は途中中断することもありました。何とか活動できました。子ども達にとっては寂しい一年だったのではないかと思います。

私自身としては昨年度が任期四年目で最終年の予定でしたが、後任の関係でもう一年務めることとなりました。その中で思っていた活動ができなかったことは非常に残念でした。

青少年部としては楽しい時間を作り出すことが使命だと思いますので、今後も皆様のご協力をお願いいたします。今年度まで五年間ありがとうございました。



青少年部の活動

月日・分類	事業名	参加人数
子ども体験教室	たのしいおかしづくり (全5回)	11
	バドミントンで楽しく遊ぶ (全6回)	31
4月16日	子ども会育成委員研修会	20
7月24日	ハーバリウム・アクアリウムづくり	74
7月31日	万華鏡づくり	27
8月3日	まち協縁日	52
8月8日	子ども夏まつり	230
12月18日	親子正月飾り教室	68

福祉部

コロナ禍の中での

お気持ちをお寄せいただき

福祉部長

塚田 さち子

コロナ禍の中、福祉部の活動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。

今年度の南地区敬老会は、安全を最優先に考えて中止しました。

「一円玉募金について」

八月と九月の二回実施いたしました。十二月一日に社会福祉協議会事務局へ出向き、歳末助け合い運動と社会福祉協議会に寄付しました。(表参照)

	事業名	金額(円)
募金	一円玉募金	149,675
	前年度繰越金	9,972
	募金合計	159,647
寄付	歳末助け合い運動	50,000
	高山市社会福祉協議会	100,000
	寄付金合計	150,000
	残金(来年度繰越)	9,647



「古布回収について」

各町内会から集めていた古布は、十一月六日に裁断作業を行い新品のタオル・固形石鹸などと一緒に箱詰めして市内五か所の施設(新宮園、南風園、はなさと、豊楽園、それいゆ)に寄付しました。

来年度は「ふれあい文化祭」が開催される予定です。福祉部も「リサイクルバザー」を行う予定です。皆様のご協力をお願いいたします。



みなみまちづくり協議会よりお知らせ

来年度役員を選任について

みなみまちづくり協議会規約第8条の規定により、以下のように選考委員を選出し、令和3年12月に選考委員会を開催しました。

選考委員

協議会役員から2名：竹腰 幸夫、塚田 さち子
協議会理事から3名：石上 寛、丸谷 和俊、牛丸 英夫

選考結果

令和4年度会長として 三枝 祥一 を選考しました。



定期総会開催のお知らせ

日時 令和4年4月27日(水) 午後7時～

会場 高山市民文化会館



議案

令和3年度事業報告、令和3年度決算報告
令和4年度役員改選、令和4年度事業計画、令和4年度予算案など

みなみまちづくり協議会規約第12条第2項により総会は公開、また同第13条第1項により総会の構成員は運営委員、理事、部会員となっております。

みなみまちづくり協議会の定期総会は一般に公開しております。皆様お誘いあわせの上ご参加ください。

尚、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、書面決議で執り行う可能性もありますので、ご了承ください。

LINE公式アカウント・友だち登録のお願い



みなみまち協ではLINE公式アカウントを開設しており、行事の募集案内や南地区に関係する市からの情報などを随時発信しています。講座や教室の募集はチラシの回覧より早く知ることができ、先着順の応募には大変有利です。

また、地域で使用できるクーポンをプレゼントする抽選会も行っています。

右のQRコードをスマートフォンで読み込むと、友だち登録ができます。

ぜひ友だち登録をお願いします。

LINE





どこの桜?

私の一枚



お散歩日和

川口ひかりさん (フォトコンテスト応募作品)

編集後記

コロナが猛威を振るう中、予定していた行事は相次いで中止・延期となりました。

コロナ禍で、対面しないオンライン授業、テレワーク、Zoom会議が注目されてきました。

本当はその流れについていかなければならないのだと思うのですが取り残されてしまいそうです。

防災でも、自分の命は自分で守るためには、自分で防災情報を入力して、早めに対応することが要求されています。十分に聞こえない防災行政無線に頼ってはいただけませ

文芸南俳句

葉月会

鷹鳩たかほとに飛驒山脈をかがやかす
 越中より葉の便り紙風船
 あたたかや太めに描く今朝の眉
 川べりを歩めば流れも春の音
 古民家の梁の光や享保雛
 雪圍ひ解く手に繩のほひけり
 早春の雲間の青や透き通る

安藤 桂
 上田真穂子
 栗田美由紀
 小林 高子
 瀬川 章子
 益田美貴子
 米澤 智子



ん。行政もネットを使用して様々な情報を発信していますが、こちらから選択して受信しないと情報を得ることはできません。そのためにも私も含め、誰もが情報を取得できるようなスキルアップ講座開催を模索していきます。

「四ページ」のサンタは私です。
 (神田)